

全国大学書道学会

会報

24

令和2年(2020)
6月1日発行
全国大学書道学会

会長就任のご挨拶

会 長 佐賀大学名誉教授 竹之内 裕章

皆様コロナ対策はいかがでしょうか。このコロナ思いの外手強くて、各界に深刻な影響を与えています。そのため当学会も中止のやむなきに至ったのはまことに残念と言わざるを得ません。一日も早く収束してまた皆様にお会い出来るよう心から願っています。

さてこの度図らずも会長の拝命を受けました竹之内裕章(幽水)でございます。前会長の平形精一先生のもと副会長としてお手伝いしてまいりましたが、名ばかりの副会長でほとんどの仕事は執行部の先生方に丸投げ状態でございますでした。今後もご迷惑を掛けることになると思いますがよろしくお願致します。

毎年学会に出席すると発表資料の他、新入会員と退会会員の名前が載せられます。退会の理由はそれぞれ都合があつたことと思ひますが、定年退官に合わせてというケースが多いと思われれます。定年退官イコール学会の退会、これは学会の損失ではないかと思ひます。損失とは年会費のこともありますが、それ以上に長年月積み上げてこられた先生方の学識を失うことの方が大きいと思ひます。定年になったから辞めるのが当然といった風潮を払拭して、むしろベテランの先生の能力をもっと生かす方策があつてもよいのではないかと思ひます。

全国大学書道教育学会には若手研究者による懇話会があつて研究の深化の場となっておりますが書道学会にも経験豊富な先生の知見を生かす「会

があつてもよいのではないか。そのような場を設けることが学会の発展に繋がっていくと思う次第です。

香川大会の中止について

理事長 横田 恭三

昨年度、鳥取大学の住川先生をはじめとする会員の皆様のご協力を得て、鳥取大会を無事に終了することができましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。今年度は空海のふるさと香川にて開催する予定でしたが、一月以降、武漢で発生した新型コロナウイルスの影響で感染が世界に拡大し、ご存じのように日本も緊急事態宣言が出されるほどの状況になりました。小中学校から専門学校・大学に至るまで、あらゆる教育機関が施設を閉鎖し、感染拡大の防止に努めております。当該の前期授業においては、オンラインシステムを用いた遠隔授業に切り替えた大学も多いものと思われれます。

さて、このたび三学会役員は会場となる香川大学の小西憲一先生と協議を重ねて参りましたが、コロナウイルスの終息が見えない中では混乱が予想されるため、今年度は中止とし次年度に延期することに致しました。感染症対策の専門家によれば、夏期に下火になつても秋以降に第二波がやってくるという予測も出されております。有効な治療薬やワクチンが未だ開発されていない中では、リスクを回避するために細心の注意を払うことは重要な観点だと考えます。

今大会での発表を予定されていた会員諸氏におかれましては、まことに残念ですが、今年度の大会中止に対しまして、ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。とはいえ、研究誌は予定通り発刊しますので、積極的に投稿されることを切望致します。

なお、これまで六月発行の会報には第一次案内を掲載してきましたが、今回はそれも叶いません。大会で開催していた総会の議事(事業報告・決算報告、事業計画・予算案など)については、今後、折を見てご報告できるように進めて参りたいと考えています。

大会中止にあたり、皆様には何かとご不便をおかけ致しますが、ご理解のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

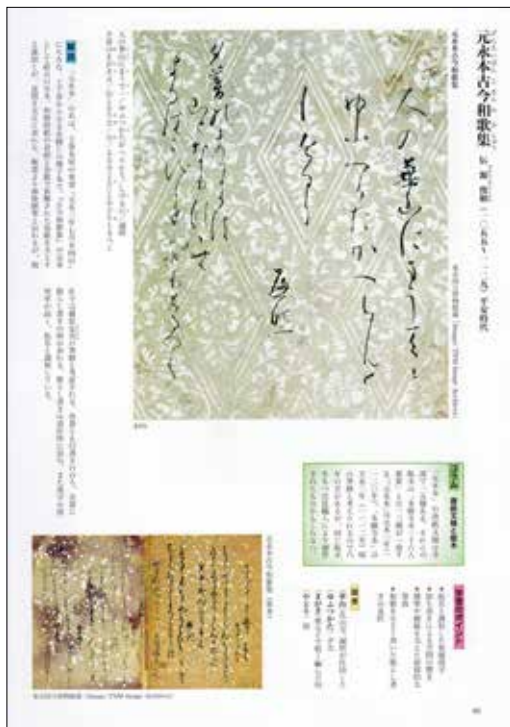
『書の古典と理論』改訂版の刊行によせて

改訂版編集委員会

新学習指導要領に対応するために、これまでの『書の古典と理論』を改訂し、このたび三月十九日改訂版第一刷が刊行されました。

少しばかり手前味噌な話になりますが、本書は平成二十五年（二〇一三）の発刊以来、全国の書道系大学のみならず、書道愛好家にも好評を博し、第五刷に至りました。発刊から五年を経過したところから新学習指導要領の改訂に伴う〈改訂版〉発行の議論が活発化しましたが、改訂作業にはそれなりの時間を要するため、「新学習指導要領」（五頁仕立て）だけに代わって第六刷を発刊しました。

この間、本学会会員や〈初版本〉の執筆者に対して、修正意見の有無を尋ね、極力〈改訂版〉に反映すべく対応しましたが、大幅な改訂は時間的に難しいため、〈初版本〉をベースに修正することを基本としました。寄せられた意見の中には、多くの古典図版が縮小されているため、臨書に少々難があるという指摘もありました。この問題を少しでも解消したいという考えから、日中の著名な古典を七種だけ原寸大で印刷し、ミシン目を入れて切り取れるように巻末に付したことや、また初版本よりも発色のよい用紙にしたことは特筆されます。あらゆる書道教育現場において、古典の臨書学習はもちろん、書の理論的な分野を学習する際に、大いに活用していただけることを願っています。



テキストの表紙（右）と日本編「元永本古今和歌集」のページ

『大学書道研究』第14号 投稿募集

今年度は大会研究発表が中止となりましたため、学会誌『大学書道研究』(14号)は投稿を募集して発行いたします。学会誌への投稿を希望する会員(準会員を含む)は、下記を確認の上、発表要旨を期日までに**事務局宛**に郵送またはE-mail添付ファイルにてお送りください。内容は未発表のものに限ります。なお、共同研究の場合、発表者以外の方が会員でない場合も投稿は可能です。

□発表要旨の送付

- ・要旨には、研究の意義・ねらい、方法、結論等を簡潔に記してください。
- ・体裁：word文書A4標準設定、縦置き縦書き、上下2段組。1段は、縦33字、横23行、10.5ポイント。
- ・要旨は上段に記載し、最初の4行に、タイトル、所属機関名及び役職・発表者氏名(共同研究の場合は全員)を記し、本文は500字以上627字(19行)以内、全23行以内としてください。
- ・下段には、発表者氏名、郵便番号、住所、電話(FAX)番号、E-mailアドレスを付記してください。
- ・申込締切 **9月10日(木) 必着**
- ・送付先 〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船6-1-3 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科
電話 0467-33-8211 E-mail sgym-hyt@kamakura-u.ac.jp
全国大学書道学会 事務局 杉山勇人 宛

■学会誌への投稿

- ・発表要旨について、學術委員会の審議を経て、投稿の可否を連絡いたします。その上で、学会誌または学会ホームページ掲載の執筆要項を確認の上、**完成原稿(3部)を學術局長宛に送付**してください。
- ・投稿締切 **11月10日(火) 必着**
- ・送付先 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学教育学部
全国大学書道学会 學術局長 角田勝久 宛 (025-269-9250)

年会費納入のお願い

本学会の年会費について、払込取扱票(赤色)により、**8月10日までに納入**くださるよう、お願いいたします。

〈昨年度まで完納されている会員〉

- * 年会費は、**会員6,000円、準会員(大学院生)5,000円**です。準会員は、大学院修了後、会員資格として取り扱います。(但し、大学院修了とともに退会を希望する場合は、必ず推薦者の了承のもと、事務局に退会を申し出ること。)

〈昨年度までに未納分がある会員〉

- * 未納分のある場合は、その旨「払込取扱票」に記載しておりますので、本年度分と併せて納入ください。

■口座番号 00110-9-613810 ■加入者名 全国大学書道学会
〈全国大学書道学会 会計局〉
〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学芸術系 尾川研究室内
TEL・FAX：029-853-2717 E-mail：ogawa@geijutsu.tsukuba.ac.jp
※2020年度より、会計局担当が変更となりました。

